

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	総合教育センター
	施策	学校教育の充実		電話番号	811-2161
	基本事業	豊かな心と体を育てる教育の推進		事業実施主体	市
	事務事業	不登校対策事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校に関する援助推進委員会への意見具申に基づき、不登校対策事業・適応指導教室事業にあたる。</li> <li>不登校を考える会や親の会等を開催するなど、学校と関係機関の連携強化を図る。</li> <li>ICTを活用した在宅学習支援を進め、不登校児童生徒の学業不振解消や学習習慣定着の支援に努める。</li> <li>不登校児童生徒への自立支援事業を推進する。</li> </ul>
-------	---

29年度 概要  
 適応指導教室運営の運営に加え、不登校に関する援助推進委員会や学校における親の会、不登校を考える会を実施することで、不登校対応の環境整備を行う。また、みなみの移転拡充にそなえ、移転先の解体作業を進める。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市立小中学校児童生徒、保護者、学校、関係機関
意図(どのような状態にしたいか)	不登校傾向にある児童生徒の状況を把握し状態の悪化を防ぐとともに、不登校児童生徒の学業不振解消や学習習慣定着に努める。

【事業の活動】

活動指標名(具体的などのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
適応指導教室延べ実施日数	日			203	205	205

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	適応指導教室通室児童生徒の学校復帰率	%	目標値			50	50	50
			実績値			31		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標に対して6割の達成にとどまった。分母となる通室生の増加も要因となっている。 (目標達成度)			(達成度) 62.0% 21点				
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)			(達成度)				
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)			(達成度)				
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	27,836	28,668	29,425	52,099
(事業費)	[円]	20,455	20,991	21,574	44,248
(職員人件費)	[円]	7,381	7,677	7,851	7,851

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

昨年度、適応指導教室を希望しているにもかかわらず、受け入れ許容人数を超えた時期には、通室待機となった。指導員数や施設の拡充が必要。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

保護者に対する面談にも対応する等、カウンセラー等の専門的な意見を活用し、相談内容をさらに充実させる。また、適応指導教室「みなみ」を移転・拡充し、平成 31年度から受け入れ許容人数を増やす予定である。